

訂 正

第 38 卷 第 6 号に誤りがありましたから訂正願います。

- ① 507 頁 図 1, 図 2 の写真(普通写真, レ線写真)
4 組ともすべて術前, 術後の表示が逆です。
- ② 576 頁 三浦隆行氏発言の末に次の文を加えて下さい。

治療終了時に臼蓋形成不全の遺残する症例では成績不良であり, 何等かの手術的処置を要するとの結論の様でしたが, 我々の研究では, 治療中臼蓋角不良(36° 以上)のものでも 37.8% に優良の成績を得ている。この事より考え臼蓋角不良のものでも直ちに手術適応とみず, 骨頭核の状況, 関節造影像に所見等を考慮すべきである。

尚我々の前回の報告で求心性不良のものの中にも予後成績良以上のものを 38.5% 認め 47 の演者の意見に一致する。治療中骨頭変形の著明なもの予後は不良な事は展示 12 に示してある。